

(様式第2号)

事業所名 グループホーム むつわ

## 目標達成計画票(事業所記入)

作成日: 平成 24年 4月 23日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	認知症に対する理解は、地域に浸透はしているものの、地域の状況により温度差があることから、十分な支援が得られていない。	①地域発行の回覧版や広報誌で地域の行事等を把握し社会資源を活用する。 ②事業所の出前PRを実施する。	①地域の回覧版、広報誌を事業所に定期的に配布。 ②地元ボランティアの積極的受け入れと協力の要請。 ③管内小・中学生の研修の受け入れ。	3ヶ月
2	12	平成24年度介護報酬改正に伴い2ユニット2名の夜間体制になり職員の勤務体制に支障が出ている。	①2名夜勤体制の定着化。 ②夜間における介護業務分担の明確化。	①早期職員の補充。 ②夜勤勤務表の作成。 ③夜間を想定した事故発生時対応の強化。	6ヶ月
3	19	入居者の家族環境の違いもあり、面会が極度に少ない家族もある。	①面会の少ない家族に対しては、面会の頻度を高めてもらうようお願いする。 ②運営推進会議の家族代表を通じ面会の必要性を強調する。	①家族会議や面会時等で面会の必要性を説明する。 ②面会の少ない家族に対しては、定期の広報ダイレクトメールで面会を促す。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入してください。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加してください。